

owariasahi

sango station



三郷駅前
まち育て
プロジェクト

REPORT BOOK 2

レポートブック 2



お問い合わせ

市役所三郷駅周辺整備推進室 TEL:0561-76-8182

<https://35project.com/>

三郷駅前まち育てプロジェクト

@35proj

<https://www.facebook.com/groups/35proj>

イベントのお知らせを
メールでお伝えします！



登録フォーム



Webサイト



Facebook

2023年2月23日発行

©三郷駅前まち育てプロジェクト / 尾張旭市役所 / 愛知県立芸術大学 / 三郷駅前地区市街地再開発準備組合

三郷駅前
まち育て
プロジェクト

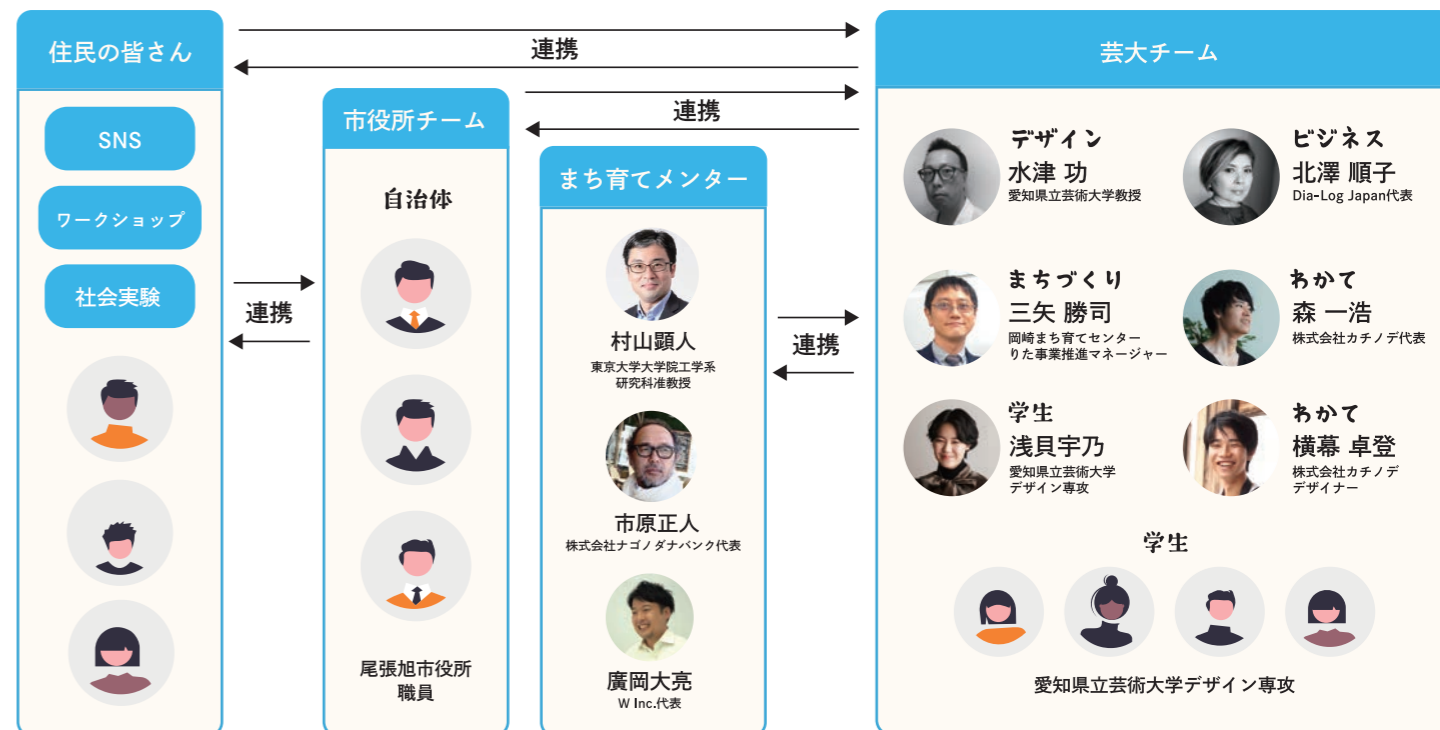
もくじ

- 1.三郷駅前まち育てプロジェクトとは? p3
- 2.これまでのまち育て p4,5
- 3.三郷駅前どーするんだ!?デザインワークショップ p6,7
- 4.デザインワークショップの成果「9つの空間テーマ」 p8
- 5.35社会実験「電車パークを体験しよう！」 p9
- 6.まち育てフォーラム p10,11

三郷駅前まち育てプロジェクトとは？

三郷駅前まち育てプロジェクトは、駅前開発を核として周辺地域のコミュニティを含めた暮らしや地域の活性化を総合的に考え、地域住民の街を育てる活動をサポートするため、尾張旭市と愛知県立芸術大学が共同で行うまちづくり支援プロジェクトです。

三郷駅周辺地域の皆さんの内面にある「街への想い」をかたちにすることを、最も大切に考えており、「未来のあるべき姿」を、市、大学、そして地域の皆さんと一緒に考えて考える機会を提供し、さまざまな意見が集まる共創の場として存在します。



2021年度

- Phase1 国内外事例研究と分析
- Phase2 三郷の個性探求
- Phase3 三郷の未来シナリオ創出
- Phase4 三郷のまち育てコンセプトの可視化

4つのPhaseで、三郷駅の利用者や駅周辺に住む人々が感じる特徴や問題点を探りながら新しい三郷駅の未来シナリオやコンセプトを語り合いました。

2022年度

- デザインワークショップ 公共空間の基本検討
- 35社会実験 アイディアの具現化
- まち育てフォーラム 新たな暮らしや働き方の変容

昨年のPhase4で見つけた求められる空間要素を基本設計に反映していくための具体的な考案・検証を繰り返し多くのアイデアを集約していきました。

2023年度

ガイダンス / テーマ型分科会 / 視察会 / 35社会実験

2024年度～

社会実験 / ものづくりWS / ブランディングデザイン / オープニングイベントWS / コミュニティ支援

35 三郷駅前まち育てフォーラム

尾張旭市と愛知県立芸術大学が
駅前未来デザインを応援します。



YouTubeで
フォーラムを
視聴できます

Phase01

三郷駅前まち育てワークショップ

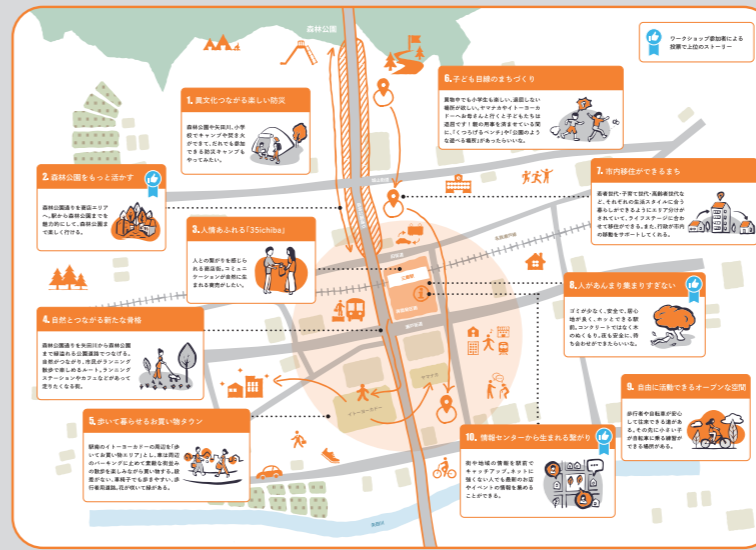


レポートブック



詳細は
レポートブック
P4~P5へ

Phase03



MIRAI MAP ワークショップで集めたストーリーを集約し、
三郷のミライ、こうしたい！
三郷駅周辺の「ミライマップ」にまとめました。

Phase04



スケッチブック 10の未来ストーリーをテーマとして再設定し、
3つの観点で、具体的な施策を検討しました。



再開発基本計画への提案
公共施設の基本構想への提案
駅周辺まち育てへの提案

2021 これまでのまち育て。

2022 2022年度は市民参加の機会を6回実施しました。

- 1 デザインワークショップ DAY1
- 2 デザインワークショップ DAY2



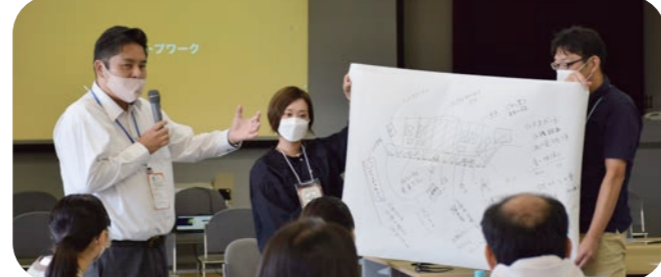
DAY1で集まった空間イメージ

- 半プライベート空間**
 - 個室 (少人数用)
 - 会議、打ち合わせ
 - 勉強、仕事 (PC作業)
 - 作業
 - まちの保健室
 - 子育て支援センター
 - 子育てサロン
 - フリースペース
 - 交流スペース
- 開かれたスペース**
 - 電源、wifi
 - 複合用パソコン
 - 読書
 - 小規模図書館
 - 自然を感じる
 - 定常スペース
 - 森林公園
- 子育てのサポート機能**
 - シネホール
 - 自習、読書
 - 情報センター
 - 情報センター
 - アナログもOK
 - 最上ライブ
 - YouTube等
 - ライブ配信
- 自然を感じるくつろぎ空間**
 - ウッドデッキ
 - くつろぐ
 - ウォーキング
 - 子どもが遊ぶ
 - 夜間照明
 - 遊具
 - 遊具
 - 遊具
- ふらっとお買い物**
 - カフェ
 - ATM
 - 居酒屋
 - コンビニ
 - スーパー
 - お惣菜店
 - 地域のイベントの
 - 資料購入
 - スポーツ・体を動かす機会
- 誰かの活動が見える**
 - お店
 - 買い物、飲食
 - 体にやさしい地産地
 - 消滅まで営業
 - 地域のイベントの
 - 資料購入
 - コンビニ
- あらゆる場所が「まちあわせ」つなぐ空間に**
 - 待ち合わせ
 - タスクグループ
 - 安全で快適な移動・送迎
 - スクールバス
 - スクールバス待合所
 - 乗降待合スペース
 - スムーズな行き来
 - 徒歩
 - 自転車
 - 安全な送迎乗降場
 - 近頃と良い
 - わかりやすいサイン
 - 自転車などの往來がない
 - 待ち時間が通る

【凡例】
設備
機能
行動



- 3 社会実験推進メンバー企画会議
- 6 三郷駅前再開発の今がわかる!? まち育てフォーラム



4 社会実験作業日 -WORK DAY-



5 社会実験「電車パークを体験しよう！」



YouTubeで
社会実験を
視聴できます

YouTubeで
フォーラムを
視聴できます

どーするんだ!?

デザインワークショップ DAY1

三郷駅前再開発の基本設計に向けて、公共空間（オープンスペース＋公益施設）の用途と配置に関するユーザー意見を抽出するために、実際の三郷駅へのアクセス方法などを基にして、具体的な使い方イメージ（それに伴う空間のあり方や必要なヒト、モノ、コト）を引き出し合い、基本設計に資する情報を集めました。

YouTubeで
DAY1を
視聴できます



17のデザインランゲージ

空間要素を抽出して、そこから17のデザインランゲージとしてまとめました。

カラーカテゴリー **三郷駅改札口** **交通** **多目的オープンスペース** **待合空間**

2 改札出た先で
出会う情報



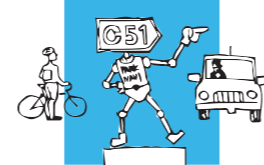
3 広くて、便利で、
ちょっと和むコンコース



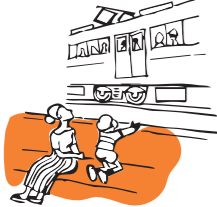
4 仮設店舗や展示ができる
オープンスペース



5 パーキングナビゲーター



6 電車の見える
キッズルームや待合空間



7 多様な世代が安心して
利用できる待合空間



8 自習やミーティングが
できる待合空間



9 一人でも居られる
待合空間



10 BOOK カフェのような
待合空間



11 予約できる
オンライン会議室



12 芝生ライブが
見える待合空間



13 自転車や歩行者と
交差しない送迎スペース



14 共同スクールバス
待合空間



15 歩きたくなる
森林公園通りへの整備



16 改札から見える
スポーツジム



17 2～3人の相談室



どーするんだ!?

デザインワークショップ DAY2

Day 2では、17のデザインランゲージを用いて各空間要素をどこに配置するべきか、参加者の意見を集約して分布図を作成しました。さらに、分布図に配置した空間の繋がりや設置したい機能に関する参加者それぞれの主張を共有し合い集約してグループ発表を行いました。

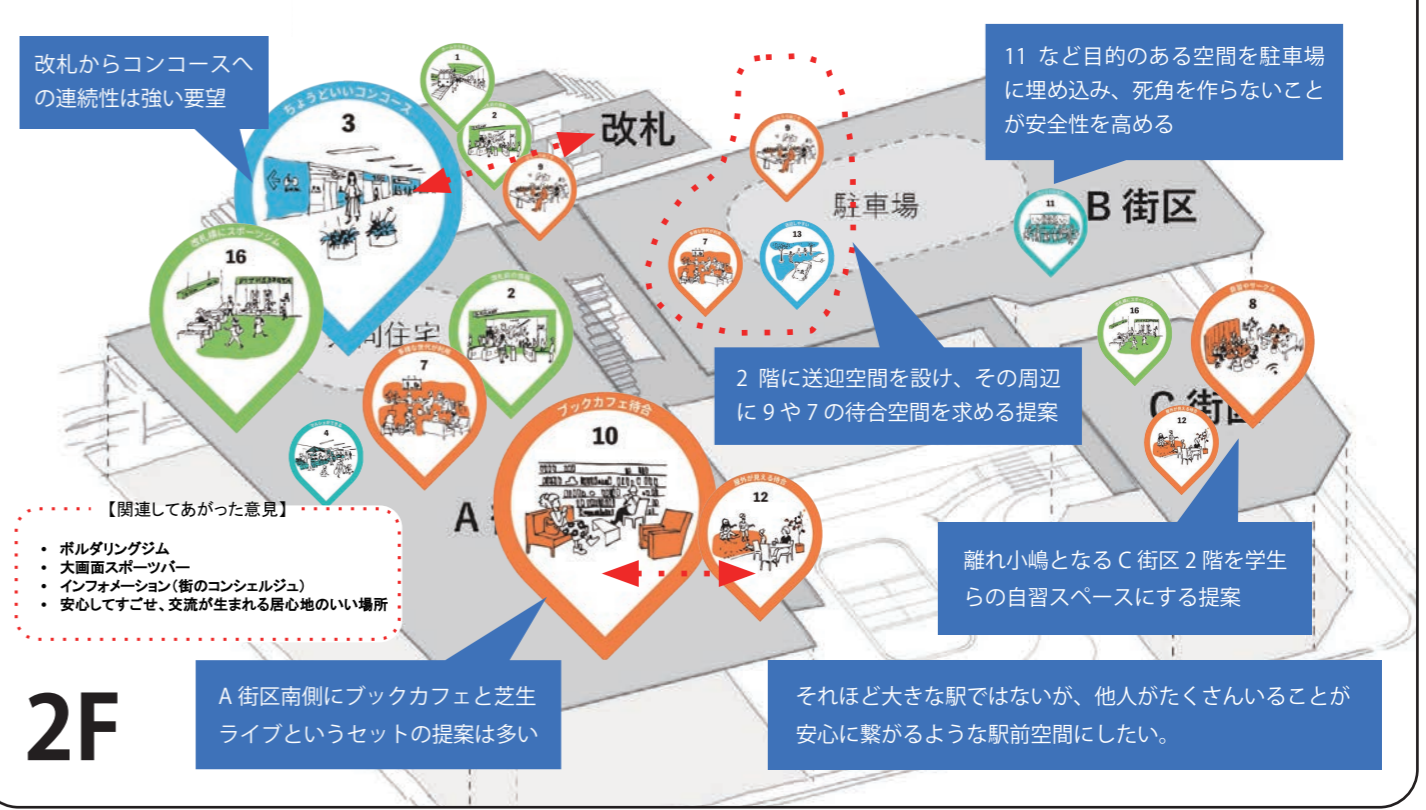
YouTubeで
DAY2を
視聴できます



空間分布図



1F



2F

【関連してあがった意見】
・ホルダリングジム
・大画面スポーツバー
・インフォメーション(街のコンシェルジュ)
・安心してすごせ、交流が生まれる居心地のいい場所

デザインワークショップの成果 「9つの空間テーマ」

2日間のデザインワークショップを通じて市民から幾つもの要望やアイデアが示されました。一見困難に思えるものもその言葉を発した背後にある意味を読み解き、基本設計に反映したい要点を言語化することで「9つの空間テーマ」となりました。

カラーカテゴリー

三郷駅改札口 交通 多目的オープンスペース 待合空間

架け橋

三郷駅の南北をつなぐ架け橋

駅は、鉄道で分断された南北を繋ぐ架け橋。格差を無くし、賑わいを取り戻し、踏切のストレスを軽減し、シームレスな公園通りを実現する。森林公園のある北口はフォレストサイド、矢田川がある南口はリバーサイド。

Good Parking

駐車場を明るく活動的な空間にする

従来の暗くハードな駐車場のイメージを一新し、集会や待合、送迎など多様な市民生活の舞台と連動した、明るく活動的な空間にしたい。

スマート駐輪場

新しい三郷駅らしさ

従来の暗くハードな駐輪場のイメージを一新し、健康に寄与し、低炭素社会に貢献する市民の足を推奨し、明るく活動的でカッコイイ駐輪場と話題になるような空間にしたい。

三郷コンシェルジュ

三郷市民が支える三郷駅

多様な世代、業種、人種の参加が可能な市民有志による案内係＝市民コンシェルジュが三郷駅のホスピタリティとシティプライドを向上させる。市民が見守る安全な駅前にしたい。

屋上庭園

賑わいと自然のコラボレーション

自然を感じつつ、都市生活をエンジョイする芝生広場が欲しい。子育てや息抜き、ライブ演奏や防災訓練などのイベント、子育て支援施設やカフェ、アウトドアショップと連動して利用できる。

Train Bum トレインバム

電車をとことん楽しむ駅

電車はただそれだけでロマンでありエンターテインメントだ。待合空間や託児所、カフェやコンコースなど思いもかけない角度から電車が見える楽しさを用意してほしい。

ドコデモマチアイ空間

多様な待合空間のあり方

大人数や小グループ、お茶を飲みながら、本を読みながら、テレワーク、友達との勉強会、ぶらぶら暇つぶし、買い物のかめの小休止など、多様な場所で多様な過ごし方が可能な居心地をデザインしてほしい。

LANDMARK

新しい三郷駅らしさ

無個性なデザインは市民の無関心や落胆につながりやすい。来訪者も多く、市民が親しみを感じている森林公園をモチーフとし、駅の個性を感じさせる三郷らしい印象をデザインしてほしい。

送迎パーク構想

送迎という生活様式を育む

安全で快適な送迎ニーズを満足させるまちづくりを駅前再開発だけでなく駅周辺を含むエリア全体で考えていく。大規模物販の駐車場や店舗の駐車場、公園なども視野に入れる。

35
社会実験

電車パークを体験しよう！



17のデザインランゲージの一つである「電車が見えるキッズルームや待合空間」が社会実験で再現されました。電車を乗るだけでなく、皆で電車を眺めてくつろぐという新たな日常が三郷駅に生まれる可能性を体感しました。



STEP1 社会実験推進メンバー企画会議

令和4年10月15日(土) 10:00~12:00
尾張旭市役所

三郷駅にゆかりのある方が集い、「35社会実験推進メンバー」となって社会実験についてアイデア段階から検討しました。これまでのワークショップで出てきた空間要素から、実際に再現できる望ましい待合空間について話し合いました。



STEP2 社会実験作業日 -WORK DAY-

令和4年11月12日(土) 13:00~16:00
尾張旭市準備組合会議室

推進会議で決定した待合空間「電車パーク」を再現するために必要な資材を推進メンバーの皆さまと制作しました。社会実験で試行する空間や機能のための現地確認などを行い、限られた既存の空間を賑わいのある待合空間へと変えて利用者がくつろぎやすいように準備しました。



STEP3 社会実験「電車パークを体験しよう！」

令和4年11月19日(土) 10:00~16:00
名鉄瀬戸線「三郷駅」北コインパーキングエリア

体験後のアンケートでは、良かった点として子どもたちにとって楽しめる場所が三郷駅前に増えたことが多く挙げられていました。また、瀬戸線電車に近いカフェ空間により電車へ親しみが湧き、子育て世代や高齢者にとって三郷駅へ足を運びきっかけになったという意見も得られました。以下は「電車パーク」を体験した来場者のアンケート結果の一部です。



- Q. 待合空間全般について、もっとこうしてほしい、といったご意見、ご要望があればご記入ください。
- 明るく清潔で自然が多い空間、かつ車通りも気にならない開放的な場所を希望します。
 - 机があるとくつろぐスペースが増えて良さそう。室内から電車が見えるスペースなどがあると良さそう。
 - 実際に作る場合はタクシーのルートや線路に子どもが侵入しないようにする工夫が必要だと思います。

35 三郷駅前再開発の今がわかる!?

まち育てフォーラム

from 35 STUDIO

2023年1月22日[日] 10:00~12:00 主催:尾張旭市 / 共催:愛知県立芸術大学
 協力:三郷駅前地区市街地再開発準備組合 参加無料 オンライン開催 (YouTubeLive)

フォーラム司会



やまだ むつみ
 山田睦望
 やまだ のぞみ
 山田望端

フォーラム司会者は、これまでにデザインワークショップや、社会実験等、数々のイベントに参加して積極的にイベントを盛り上げる尾張旭市在住の高校生姉妹です。今回フォーラムでは活動の全容と、駅前再開発の最新情報をお伝えします。三郷駅前が変わると、市民の暮らしや働き方にどのような変化が生まれるのでしょうか。国内外の都市再生、エリアマネジメントに詳しい村山顕人氏(東京大学准教授、都市計画)をゲストに迎え、三郷の未来を語り合います。

基調講演『暮らしの質を高める駅まち空間のデザイン』

スピーカー



むらやま あきと
 村山 顕人

東京大学大学院工学系研究科准教授。博士(工学)。専門は都市計画(土地利用計画・市街地整備)、公共政策としての都市デザイン、計画策定技法(方法と技術)。共著に『都市計画学』(学芸出版社、2018年)、『都市計画の構造転換』(鹿島出版会、2021年)、『都心周縁コミュニティの再生術』(学芸出版社、2021年)など。
<http://up.t.u-tokyo.ac.jp/%7emurayama/index-j.html>

駅まちデザインの5原則

- ①多様な主体の連携 ②ビジョンの共有 ③空間の共有 ④機能の連携 ⑤一体的で柔軟な運営



駅まちデザイン検討会：駅まちデザインの手引き、2021

パネルディスカッション

<パネリスト>
 水野寿美代さん
 岡部満康さん
 山田麻記子さん



前半:「三郷駅前再開発と市民の暮らし」

岡部さん: 親の関係で参加したのですが、参加者の皆さんが面白い意見を出してくれて、そうした多くのアイデアを聞いていくことで一緒に楽しく参加することが出来ました。積極的な人々もいらっしやるということで、自分自身の考え方も変わって前向きな見方になりました。

水野さん: 私は実家が三郷駅近くであり、駅に行き電車に乗ることが学生の頃からの日課でしたが、今では全然使っていません。村山先生の繰り返し試行するプロセスで駅がまちのリビングになり「私も今後三郷に行けるんだ!」と思える空間になると良いなと思いました。

山田さん: 私にとって三郷駅は本当に今の時点では電車を乗り降りするだけの場所なので、そこにどのような機能がつかのか楽しみです。最近の私は、三郷駅は送り迎えの車ユーザーです。これから新しく三郷駅がどのように変わっていくのか5年後10年後、長生きして変化を楽しみにしています。

後半:「三郷駅前まち育てと市民の関わり - 社会実験を振り返って - 」

スピーカー



いちはら まさと
 市原 正人

1961年名古屋生まれ。市原建築設計事務所主宰。株式会社ナゴノダナバンク代表取締役。一般社団法人ポンド代表理事。20年以上円頓寺商店街を中心に那古野地区のまちづくりに関わり2009年空き店舗対策を行うナゴノダナバンクを発足する。現在、他地域のまちづくりを行い那古野地区との地域間連携に取組む。また、文化財の民間活用、地域産業・食の振興の取組みも始める。

市原先生: 私が関わっている春日井市にある高蔵寺駅の取り組みを少し簡単に説明させていただきます。街の中に高層ニュータウンで『KOZOJI PLAT』という、子育て世代向けに街にどういった機能があつたらいいのか食べ物や雑貨を売り買いしながら楽しみ、考えていく取り組みを行いました。今後の活動を続ける上で、三郷駅前の社会実験のような市民と繰り返し思考するプロセスは大変参考になります。



水野さん: 社会実験の様子をYouTubeで見させていただくと子どもたちが和やかに駅前空間を楽しんでいることがすごく伝わってきたのでとても良かったんじゃないかなと思います。懐かしい三郷駅の名鉄電車の写真から本当にかつては素敵な空間だったんだなと思ったりは素敵な空間だったんだなと思ったり。一つ一つの社会実験を通していろんなところに取り組みられていくことでますます楽しいものになっていくと思います。

岡部さん: 社会実験は目立ちにくい自転車置き場の横で大通りからも見えにくい場所だったので心配していましたが、写真を見る限りすごく楽しそうでした。こういう空間を作ると人は見てくれるんだなとすごく感じたのでこういう仕組みを色々試したり、配置していくことでもっと楽しくなりそうだなと感じ、いろんな場面で期待できるなと思いました。

山田さん: 私は社会実験に参加させていただきました。三郷駅周辺にこういうことができる場所があることに気づくことができ、先ほども話したように駅へは車で来ることがほとんどだったので、駅周辺が賑わって人が集まり、何か生まれるかけがえのない場所に変わると思いました。今後も駅まち空間に期待しています。



YouTubeLiveの動画はこちらから視聴 →
<https://www.youtube.com/watch?v=l1ascqsYoEk>



三郷スタジオ みんなで考える三郷のまちづくり

駅前整備から施設運用までまちづくりに関する幅広く考えるため、関係者の皆様との話し合いの拠点となる「三郷スタジオ」が設立されました。再開発関係者やまちづくりに興味のある方、行政関係者、学校関係者など様々な立場の人々が三郷のまちづくりに関してコミュニケーションを取り合うことのできる場所です。

